

ハイゼックス (ペレット), 12001, 2009年4月20日

作成日 2005年 4月 1日

改定日 2009年 4月 20日

## 製品安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名	ハイゼックス (ペレット)
会社名	株式会社プライムポリマー
住所	東京都港区東新橋一丁目5番2号
担当部門	品質保証室
電話番号	03-6253-4630
FAX番号	03-6253-4984
整理番号	12001

### 2. 組成, 成分情報

化学名又は一般名	ポリエチレン
成分	エチレン・ $\alpha$ -オレフィン copolymer
含有量	99%以上
官報公示整理番号	
化審法	(6)-1 または (6)-10 または (6)-18
安衛法	(6)-1 または (6)-10 または (6)-18
CAS番号	9002-88-4 または 9010-79-1 または 25087-34-7
危険有害成分	PRT法 の 指定化学物質には該当しない。 労働安全衛生法の通知対象物質には該当しない。

### 3. 危険有害性の要約

#### 最重要危険有害性

有害性 : 高分子量化合物で生理学的に不活性であり, 人体への特別な急性作用はない。

高温溶融樹脂から発生するガスは目, 呼吸器に刺激性がある。

環境影響 : 環境の中で長期間分解しないため, 環境汚染の原因となる。

#### 物理的及び化学的危険性

: 火災条件下で熱分解し空気と混合して爆発性混合気を生じる恐れがある。

特定の危険有害性 : 床面に残ると滑り易い。

分類の名称 (分類基準は日本方式)

: 分類基準に該当しない。

### 4. 応急措置

吸入した場合 : 高温の溶融樹脂から発生するガスを多量に吸入した場合は, 空気の新鮮な場所に移る。

症状変化が現れた場合には, 直ちに医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 溶融物が皮膚に付着した場合は, 衣服の上から多量の水をかけて十分に冷却する。

- 皮膚に張りついたポリマーや衣服は無理に剥がさないで、直ちに医師の手当てを受ける。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で洗淨する。  
洗眼の際、まぶたを指で良く開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗淨する。  
コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗淨する。  
異物感が目に残るようであれば、速やかに眼科医の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗淨し、コップ 1-2 杯の水又は牛乳を飲ませて、直ちに医師の手当てを受ける。  
可能であれば、指を咽喉に差し込んで吐き出させる。  
被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

## 5. 火災時の措置

- 消火剤 : 霧状水, 粉末, 二酸化炭素, 泡
- 特定の消火方法 : 火災発生場所の周辺に、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。  
周囲の設備などに散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、状況に応じた保護具を必ず着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。  
作業の際は保護具を着用し、接触および粉塵の吸入を避ける。  
この製品がこぼれた場所は、すべりやすいので注意する。
- 環境に対する注意事項 : 環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。
- 除去方法 : 飛散したものは掃き集めて紙袋又はドラムなどに回収する。  
溶解状態で漏出した時は、水等で冷却し、固化した後、回収する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い
- 技術的対策 : 換気の良い場所で取り扱う。  
電気機器類は防爆構造の物を用い、静電気対策を行う。  
吸入、皮膚への接触を防ぎ、又、目に入らないように適切な保護具を着用する。
- 注意事項 : 取り扱う場合は、局所排気内で取り扱う。
- 安全取り扱い注意事項 : 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。  
ペレットは、床面に残ると滑りやすいので、常に清掃し取り除く。

保管

適切な保管条件 : 直射日光を避け, 火気, 熱源から遠ざけて保管する。  
防湿に留意する。  
屋内貯蔵を原則とする。

---

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取り扱い場所には, 全体換気装置を設置する。  
密閉された装置, 機器, 又は局所排気装置を使用する。  
取り扱い場所の近くに, 洗眼および身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度 : 未設定

許容濃度

日本産業衛生学会 (2002)

: 第3種粉塵	吸入性粉塵	2 mg/m <sup>3</sup>
	総粉塵	8 mg/m <sup>3</sup>
ACGIH (2002): その他の粉塵	呼吸性粉塵	3 mg/m <sup>3</sup>
	吸入性粉塵	10 mg/m <sup>3</sup>

保護具

呼吸器の保護具 : 呼吸保護具  
手の保護具 : 保護手袋  
目の保護具 : コーグル, 保護面  
皮膚及び身体の保護具 : 安全帽, 保護服, 安全靴

---

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態 : 固体  
形状 : ペレット  
色 : 白色又は乳白色  
pH : 非該当

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

融点 : 125 - 135 °C (銘柄により異なる) <sup>1)</sup>  
引火点 : > 200 °C <sup>1)</sup>  
発火点 : > 270 °C <sup>1)</sup> (ASTM E659)  
爆発特性 : 知見なし  
密度 (比重) : 0.94 - 0.97 (銘柄により異なる) <sup>1)</sup>  
溶解性 : 水に不溶. <sup>1)</sup>

---

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取り扱い状態において安定。  
火災条件下で熱分解し空気と混合して爆発性混合気を生じる恐れがある。

反応性 : 強酸化剤と反応する. <sup>2)</sup>

危険有害な分解生成物 : 知見なし

---

### 1 1. 有害性情報

急性毒性 : 知見なし  
局所効果 : 知見なし

---

### 1 2. 環境影響情報

: 知見なし

---

### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 焼却処理を行う場合, 完全に分解させるために燃焼室の温度を 800℃以上に保持する。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し, 関係法令を遵守して適正に処理する。  
汚染容器・包装 : 空容器を廃棄する場合, 内容物を完全に除去した後に処分する。

---

### 1 4. 輸送上の注意

国連分類 : 国連定義の危険物に該当しない。  
輸送の特定の安全対策及び条件 : 容器の破損, 漏れがないことを確かめ, 転倒, 落下, 損傷のないよう積み込み, 荷崩れ防止を確実に行う。  
直射日光を避ける。  
注水厳禁, 高温下厳禁

---

### 1 5. 適用法令

消防法 : 第9条の3 政令別表第4 指定可燃物 (合成樹脂類)  
(発泡させたもの: 20 m<sup>3</sup>, その他のもの: 3,000 kg)

※ 食品包装用途等の用途規制に関しては, 別途ご相談下さい。

---

### 1 6. その他の情報

引用文献

- 1) 自社データ
- 2) 化学品安全管理データベース (化学工業日報社, 2000)

#### <記載内容について>

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しておりますが, 記載のデータ及び評価については必ずしも十分ではありませんので, 取り扱いには注意して下さい。なお, 注意事項等については通常の取り扱いを対象にしたものですので, 特別な取り扱いをする場合には, さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上, お取り扱い願います。

---

ハイックス (ペレット), 12001, 2009年4月20日

本製品安全シートを適用するグレード

1108J	3000B	5000H	3300F	6300M	5100E
1300J	5100B	5000S	3600F	6308M	5100EU
1608J	5195B	5000SF	7000F	6600M	5305E
2100J	5202B	5000SR	7700F	7500M	
2100JH	5300B	6800S	8000F	7700M	
2110JH	5301B			7800M	
2100K	5600B				
2200J	6008B				
2208J	6200BX				
2209J	6201BX				
	6203B				
	6700B				
	8200B				
	8201B				
	8208B				
	8800B				
	8800BS				